

## 1 / 9 校長講話 3学期始業式

いよいよ三学期がスタートしました。皆さんと笑顔で会うことができとても嬉しい気持ちでいっぱいです。

一方、元旦に発生した能登半島地震によって、多くの人々が苦しんでいる姿に触れ、一日も早い復興を祈る毎日です。

私は、今までに皆さんへ「自分を大切に 他の人を大切に」と伝えてきました。夏の雲小学校の良さの一つは、多くの子供たちが「誰に対しても優しく接すること」ができることです。友達だけでなく、下学年に対しても常に優しく言葉をかけて行動する姿が随所に見られます。そんな姿を見ていると心が温まります。

「三尺箸の譬（おし）え」というお話があります。地獄の住人たちは、三尺（約90cm）の長い箸で目の前のごちそうをやっとの思いではさみ、口に運ぼうとしますが、長い箸なので、なかなか口に入りません。目の前のごちそうが食べられないため、困り果てていたそうです。一方、極楽の住人たちの食事風景は異なります。箸でごちそうをつまむと、それを向かいに座っている人の口に運んであげるのです。極楽の住人たちはお腹も満たされ、ニコニコとしているそうです。このお話に出てくる地獄と極楽の住人たちは何が違っていたのでしょうか。それは箸の使い方です。自分のためだけに使おうとする人と、相手のために使おうとする人との違いです。

私は、この話に触れて「他の人を大切にすること」は「自分を大切にすること」につながっているのだと思いました。

さて、3学期は全部で53日（卒業式を入れると54日）と、2学期と比べて短い学期です。さらに「自分を大切に 他の人を大切に」できる一人一人に成長し、新しい学年への準備をしていきましょう。